

イミダクロプリド剤(アドマイヤー[水和剤、粒剤、フロアブル、顆粒水和剤])が、下記理由により令和3年9月29日付けで登録変更になりました。

各剤型での変更理由・変更内容(抜粋)は下記表の通りです。

理由①	現在の登録内容の維持に必要な試験成績の整備に経費と時間を要するため
理由②	環境に調和した持続的な農業を目指す上で、ミツバチ・野生ハナバチ類に対する安全性を一層向上させた使用方法に変更する必要があると判断したため。
理由③	欧州連合(EU)においてイミダクロプリドの農薬登録が失効したことを鑑み、国内でのイミダクロプリドの使用がEUへの農産物輸出の妨げとならないよう、国内での使用実態の少ない適用作物を順次削除する。

## アドマイヤー1粒剤

変更理由	変更内容	作物名
①	作物削除	「豆類(種実)」・「ズッキーニ」・ 「非結球あぶらな科葉菜類」・ 「なばな類」

## アドマイヤーフロアブル

変更理由	変更内容	作物名	変更後
①	作物削除	「ズッキーニ」・「非結球あぶらな科葉菜類(みずなを除く)」	
	作物削除	「とうもろこし」・「ヤングコーン」	
②	施設栽培に限定	「きゅうり」・「ピーマン」・「オクラ」・「未成熟ささがし」	
	使用時期の制限	「びわ」・「もも」・「なし」・「ぶどう」・「かんきつ」・ 「キウイフルーツ」	露地栽培では、発芽期～開花期を除く
		「れんこん」・「未成熟そらまめ」	露地栽培では、開花期終了後
		「メロン」・「かぼちゃ」・「すいか」	露地栽培では、着果後

## アドマイヤー顆粒水和剤

変更理由	変更内容	作物名	変更後
①	作物削除	「ズッキーニ」・「うり類(漬物用)」・「豆類(種実)」	
②	作物削除	「とうもろこし」	
	施設栽培に限定	「きゅうり」・「ピーマン」・「にがうり」	
	使用時期の制限	「かんきつ」・「うめ」・「すもも」・「なし」・「もも」・ 「ネクタリン」・「ぶどう」・「かき」	露地栽培では、発芽期から開花期を除く
「とうがらし類」・「豆類(未成熟、ただし、未成熟そらまめを除く)」・「未成熟そらまめ」		露地栽培では、開花期終了後	
		「すいか」・「メロン」・「かぼちゃ」	露地栽培では、着果後



## キャベツ

＜菌核病＞11月頃から多発するので、早めの防除を！

はじめ下葉から黄変し、やがて全体が灰色になり腐敗。被害が進むと白色菌糸が蔓延する。被害部分には黒いねずみの糞のような菌核が作られる。被害株は、見つけ次第引き抜いて処分する。

※結球開始期から農薬を散布しましょう。

また、ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウの発生にも注意しましょう。

### キャベツ『菌核病』に登録のある殺菌剤(抜粋)

農薬名	希釈倍数	使用時期	使用回数
パレード20フロアブル	2000~4000倍	前日	3回
アフェットフロアブル	2000倍	前日	3回
アミスター20フロアブル	2000倍	7日前	4回
ベンレート水和剤	2000倍	7日前	6回
ロブラール水和剤	1000倍	7日前	4回

2021年 11月出荷暦							2021年 12月出荷暦						
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	1	2	3	4	5	6				1	2	3	4
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
28	29	30					26	27	28	29	30	31	

年末の出荷予定は、変更になる可能性がありますので、その都度指示いたします。

### たまねぎ本圃施肥(10aあたり)

施肥種類	施肥時期	肥料銘柄	早生種	中生種	晩生種
元肥	定植直後	マグリンさん	30kg	30kg	30kg
		苦土入り化成8-8-8	50kg	20kg	20kg
追肥1回目	12月中旬	苦土入り化成8-8-8	70kg	70kg	60kg
追肥2回目	1月中下旬	苦土入り化成8-8-8	60kg		
	2月中旬	苦土入り化成8-8-8		100kg	
	2月下旬	苦土入り化成8-8-8			120kg

## たまねぎ

大苗になるほど冬の低温の影響を受けやすくなり、抽台(とうだち)の危険性が高くなります。

育苗期の追肥は、生育状況に注意し、過剰な施肥は避けましょう。

たまねぎ定植後(雑草発生前)に使用できる除草剤(抜粋) ※土壌表面が適度に湿っている時に散布。

農薬名	使用時期	使用回数	使用量(10aあたり)	備考
ゴーゴーサン細粒剤F	定植後但し収穫30日前	1回	5~6kg	ツユクサ、キク科雑草には効果が劣る
ゴーゴーサン乳剤	定植後但し収穫30日前		薬量300~500ml・水 70~150L	ツユクサ、キク科雑草には効果が劣る
トレファノサイド乳剤	定植後但し収穫75日前	2回	薬量200~300ml・ 水 100L	ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、 アブラナ科雑草を除く
フィールドスターP乳剤	定植後但し定植後30日まで	1回	薬量75~120ml・ 水 100L	アカザ科、アブラナ科、タデ科雑草を除く ※薬害が出やすいので、薬量は少なめに

JA 営農だよりの内容について、詳しくは 各営農センター、営農店舗、指導課 までお問い合わせください。